

「5年後のまちづくり創造室」室方針

室長 田中 一裕

<基本方針>

“まちづくり”という言葉の定義には様々な意味が存在します。都市計画のようなハードから、地域コミュニティの活性化のようなソフトまでを網羅し、地域から国の施策に至るまで対象も多岐に渡ります。そのなかでまちづくり創造室は“まちづくりはひとづくり”と捉え活動を展開します。都市計画の策定も地域コミュニティの形成も、まちづくりを創造するのは間違いなく“ひと”だからです。地域に住む全てのひとが成長し輝くことで、その輝きは綺羅星となって明るく豊かな“まち”を形成していくのではないのでしょうか。

“ひとづくり”を掲げるにあたり重要なことは、まちづくりスピリッツの醸成です。まずは地域に向かう「己の心火」を燈し、市民力を向上させなければなりません。そのために、上越地域のひとづくりに対する考え方や取り組みについて正確な認識を持ち考察します。次に他地域の事例や方法論を学び、上越地域のひとづくりの手がかりとすることが必要です。そのうえで、主体的に地域に参画する郷土愛や地域への誇りを醸成し、「まちづくりは自分達の手で」と感じる気概を育てます。手法として、市民の皆様と共に地域で暮らす我々にとって本当に大切なものが何であるのかを一緒に考える場を提供し、共有します。さらにひとづくりにおいて欠かせないのが、若きまちづくり人の育成です。若さは力です。無謀とも思えるその発想や行動には、生き生きと輝く上越を生み出す原動力が隠されています。しかし若者は今、大きな不安を抱きながら社会に向かおうとしています。生きること、働く理由とは何なのか。こんな時代だから、彼らの多くは自分達の存在意義を見つけられずにいます。我々は、若者が不安を抱くそのうちに、実社会の体験を通して社会への参画意識を高めます。それが新たな地域の活力となり大きな成果を生み出すと考えるからです。

地域に住む全ての人々が主体性をもって“まち”のことを考え行動する。活力漲る若者達も参画し形成される私たちのまち上越は、間違いなく輝いています。企業や団体では上越らしいアイデアが溢れ、地域コミュニティでは主体性のある活発な議論が繰り広げられます。自分達のまちは自分達で創る。それを可能にする“ひとづくり”を目指します。

<運営方針>

1. まちづくりはひとづくりと認識し、室を挙げてひとづくりに邁進します。
2. 起こりうる全ての事象をポジティブに捉え行動します。
3. ～させる、～してもらうではなく、献身的に率先して事象にあたります。
4. まちづくり推進室との連携を図り相乗効果を生み出します。
5. 戦略的な会員拡大（会拡）の実践